

あんげろす



今年も自然界では着実に衣替えが進んでいる。古いからだに新しい命が芽吹き、日々深みをます草木の縁に、地表をおおう花々の彩りの中に、変わり映えの喜びを万人が実感する。その変化に目を見はる私たちの内側にも、永遠を思う心と共に変わり映えを願う気持ちが潜んでいるのを知る。でも何を、どのように変えたらいいのか？

私（たち）は「心は燃えても肉体が弱い」だけではない。漠とした変わり映え願望はあっても、いざ何をと思い定めようにも心はふらつき、実行する力も乏しい。ラインホールド・ニーバーの祈りの切実さが偲ばれる：「変えることのできないものを受け入れる潔さ、変えるべきものを変える勇気、その二つを見分ける知恵をお与えください。」のどけからまし春の心を満たすには、何はさておき、潔さ（serenity）を願わずにはおれない。

成瀬 武史